

筋湯温泉街などの皆さん

～令和5年9月21日(木)訪問～ 【九重町】



筋湯温泉は、標高1,000mの山間に約20軒の宿が点在し、約千年の歴史を有する自然豊かな温泉地です。周辺には、飯田高原や九重“夢”大吊橋、九重森林公園スキー場、八丁原地熱発電所などの観光資源が数多く存在し、年間を通じて多くの観光客が訪れています。

明治、昭和と二度の大火を、先人の努力により乗り越えた由緒ある温泉地ですが、近年では宿泊施設等の老朽化やコロナ禍により厳しい状況にあるそうです。そこで、旅館の後継者などが中心となって地域計画を策定し、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に申請したところ、令和5年8月に採択され、今後、老朽化した施設の撤去や改修など、さらなる活性化に向けて地域の皆さんが一体となって取組を進めていくとのことでした。

また、アクセス改善のための道路の維持・改修への要望や移住者増に向けた提案など、様々なご意見を伺いました。

魅力満載の筋湯温泉が、今後も発展していけるよう、いただいた課題についてしっかり取り組むとともに、県としても「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」や「大阪・関西万博」等の機会を捉え、情報発信に努めていきたいとお伝えしました。

対話風景



筋湯温泉

「筋湯」という名の由来は、白壁造りでどっしりと建てられた共同浴場「うたせ大浴場」の湯にあります。3mの高さから湯が落ちる「日本一のうたせ湯」の異名を持ち“筋肉をほぐす湯”として、肩こりなどの筋の凝りなど「筋の病に効く」ということから「筋湯」と呼ばれるようになりました。

また、四季折々の表情を見せる飯田高原も近く、夏は避暑地として賑わう観光地としても知られ、観光客を日頃の疲れを癒す温泉郷として、今も広く人々に愛され続けています。

